

平成23年 2 月宮崎県定例県議会

中山間地域振興対策特別委員会会議録

平成 2 3 年 3 月 1 0 日

場 所 第 5 委員会室

平成23年 3月10日（木曜日）

午前10時0分開会

会議に付した案件

○協議事項

1. 委員会報告書について
 2. 委員長報告（案）について
 3. その他
-

出席委員（12人）

委員 長	宮原 義久
副委員 長	前屋敷 恵美
委員	緒嶋 雅晃
委員	黒木 覚市
委員	押川 修一郎
委員	河野 安幸
委員	黒木 正一
委員	田口 雄二
委員	高橋 透
委員	河野 哲也
委員	坂口 博美
委員	岩下 斌彦

欠席委員（なし）

委員外議員（なし）

事務局職員出席者

政策調査課主査	松崎 勝一
議事課主査	前田 陽一

○宮原委員長 それでは、ただ今から中山間地域振興対策特別委員会を開会いたします。

まず、本日の委員会の日程についてであります。

お手元に配付の日程（案）のとおり、取り進

めたいと存じますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮原委員長 では、そのような形で進めさせていただきます。

それでは、委員協議に入ります。

委員会報告書につきましては、既に、皆様の御了解をいただいているところでありますが、3月14日の定例会最終日に、議場にて、3つの特別委員会報告書を合冊して配付させていただきますので、御了承いただきたいと思います。

次に、同じく、定例会最終日の本会議で行います委員長報告案についてであります。お手元に配付の委員長報告案をごらんください。

委員長報告につきましては、調査活動の概要をはじめ、条例の大きな柱として位置づけました3つの提言や、報告書の結びの部分を中心にまとめております。

皆様方、この場でそれぞれでごらんいただきまして、御意見がございましたら、お願いいたします。少し、時間をとらせていただきます。

御意見等はございませんか。

○坂口委員 2ページ目の上から2段目、心までもが過疎化・高齢化云々というところは、とりようによっては、マイナスの意味にとられる面があるのではないかと思いますかどうか。

○宮原委員長 暫時休憩いたします。

午前10時4分休憩

午前10時5分再開

○宮原委員長 再開いたします。

だだいまいただきました御意見を踏まえて、報告をさせていただきたいと思っております。時間的な余裕もございませんので、案文の修正につきましては正副委員長に御一任いただきたいと思います。

いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○宮原委員長 では、そのように決定いたします。

次に、その他で、何かございませんか。

なければ、本日の委員会は、これで終了したいと思いますのですが、最後の委員会となりますので、一言、ごあいさつを申し上げます。

この1年間、中山間地域振興対策特別委員会ということで、皆さんに大変なお力添えをいただきました。2年前に河野哲也委員長のもとで作成された報告書では、条例の検討が必要であるという結びになっておりましたので、今回、委員会の立ち上げ当初から地域の現状を調査させていただきながら、議会として中山間地域振興のための条例をつくる運びになりました。14日に条例案を提出をさせていただけるということまでこぎつけられたことは、非常にありがたかったと思います。この条例が、宮崎県民の今後の幸せなり、発展に大きく寄与することを願いたいと考えているところであります。この1年間、皆さんのお力添えで円滑に委員会運営ができましたことを心より厚くお礼を申しあげまして、お礼の言葉に代えます。ありがとうございました。

続きまして、前屋敷副委員長からも、一言お願いいたします。

○前屋敷副委員長 この1年間、皆さまには大変お世話になりました。特に個人的には、この1年多くを学んだと思っています。中山間地域で一生懸命暮らしていらっしゃる皆さん方の生活を県外を含め調査しまして、この中山間地域をどう守っていくのかということは、大きな課題であると思いつつ、今度の条例案ができたことは大変よかったと思っています。また、こ

の条例が本当に生きたものになるように願ってやまないところです。本当に1年間ありがとうございました。

○宮原委員長 それでは、以上で委員会を閉会いたします。委員におかれましては1年間たいへんお疲れさまでした。ありがとうございました。

午前10時7分閉会